

文部科学省補助事業「地域学校協働活動推進事業」

平成29年度 新潟市地域と学校パートナーシップ事業の取組

1 事業の目的

本事業は、学校がさらなる学校教育活動の充実を図るとともに、豊かなコミュニティづくりのため、地域に開かれ、地域とともに歩むことができるように、学校と社会教育施設、地域との様々な活動を結ぶネットワークづくりや協働事業を実施し、学・社・民の融合による教育を進めることを目的とする。

2 今年度の活動と実績

(1) 地域教育コーディネーターの勤務

地域教育コーディネーターの職務

- 1 学校や地域団体、社会教育施設等との連絡、調整に関すること
- 2 学校支援ボランティアの組織、整備に関すること
- 3 学校における地域の学びの拠点づくりに関すること
- 4 その他、事業の推進に関すること

1校当たりの年間勤務時間標準配当

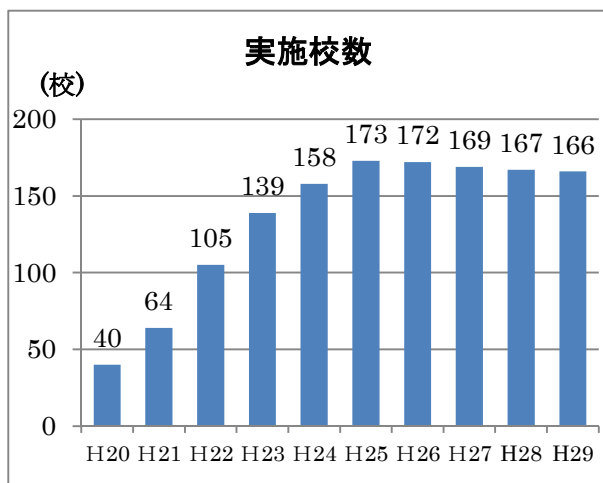
小学校 9学級以下…600時間、10～19学級…630時間、20学級以上…660時間
 中学校 9学級以下…500時間、10～19学級…530時間、20学級以上…560時間
 中等教育学校…560時間 特別支援学校…630時間

特別な出務に対する追加配当

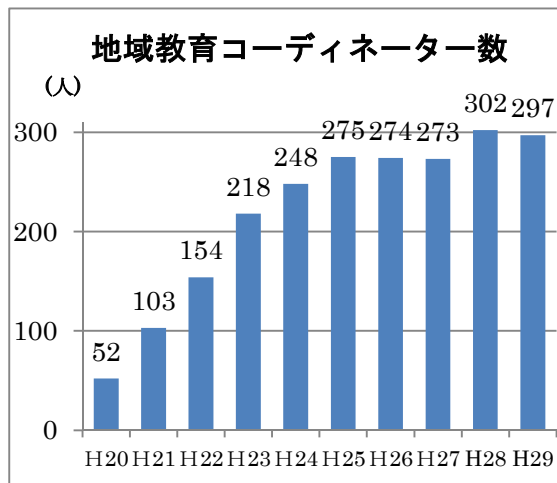
複数制実施…25時間、新任コーディネーター…10時間、アドバイスコordinエーター…平均約23時間
 研修幹事…標準12時間、中学校区ミーティング…2時間、防災研修…3時間
 編入統合の準備…必要時間

追加配当

追加配当を希望した119校に一律22時間を配当



※平成29年度2小学校が統合し1校となったため、実施校数が1校減



※平成29年度297名のうち14名が小・中学校兼務、実数283名（平成30年3月1日現在）

(2) 本事業にかかる研修

① 第1回研修会

- ・担当者紹介と今年度の事業方針説明
- ・区研修計画、情報交換

対象校	対象者	日 時	会場	参加人数
北・東・江南区	学校担当者 地域教育コーディネーター 学社民融合支援主事 図書館職員	平成29年5月9日(火) 14:30~16:30	東区 プラザ	522人
秋葉・南区		平成29年5月16日(火) 14:30~16:30	秋葉 区役所	
中央・西・西蒲 区		平成29年5月22日(火) 14:30~16:30	音楽 文化会館	

② 第2回研修会

- ・講演会：「社会に開かれた教育課程の編成と地域との連携・協働」
- ・講師：教育デザイン研究所代表理事，玉川大学客員教授 吉田 和夫 様

対象校	対象者	日時	会場	参加人数
全校	校長	平成29年8月7日(月) 14:30~16:30	江南区文化会館	195人

③ 第3回研修会

- ・研修説明「地域学校協働活動と新潟市の取組」 説明：地域教育推進課指導主事
- ・グループ研修 「地域学校協働活動に関わる各校の取組について語ろう」

対象校	対象者	日 時	会場	参加人数
小学校 特別支援学校	学校担当者 地域教育コーディネーター 学社民融合支援主事 図書館職員	平成29年11月28日(火) 14:30~16:30	ユニゾン プラザ	493人
中学校 中等教育学校		平成29年11月30日(木) 14:30~16:30	黒埼 市民会館	

④ 新任コーディネーター研修

- ・地域教育コーディネーターの職務の理解と振り返りに関する研修
- ・年2回

回	対象者・参加者	日 時	会場	参加人数
第1回	新任地域教育コーディネーター アドバイスコーディネーター	平成29年4月28日(金) 14:30~16:30	東区プラザ	48人
第2回		平成30年1月19日(金) 14:30~16:30	東区プラザ	45人

⑤ 研修幹事会

- ・研修幹事を対象にした区研修の効果的な開催のための研修
- ・年2回

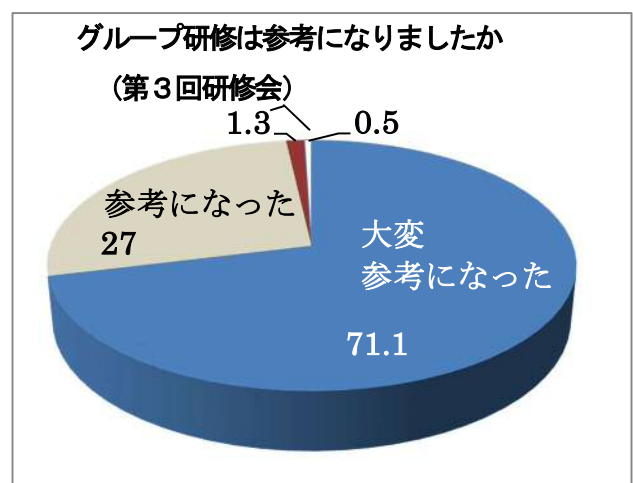
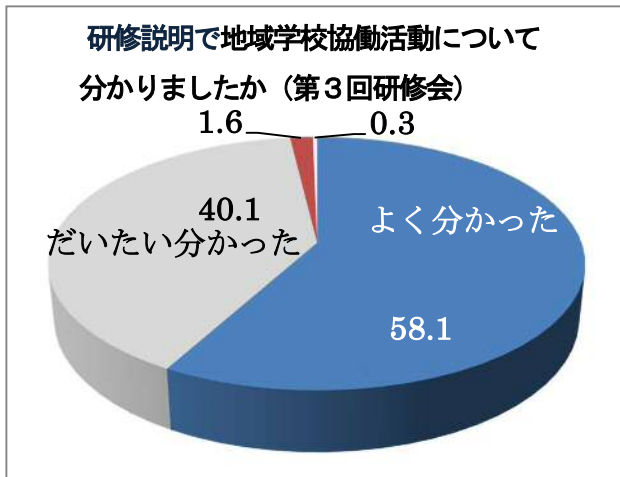
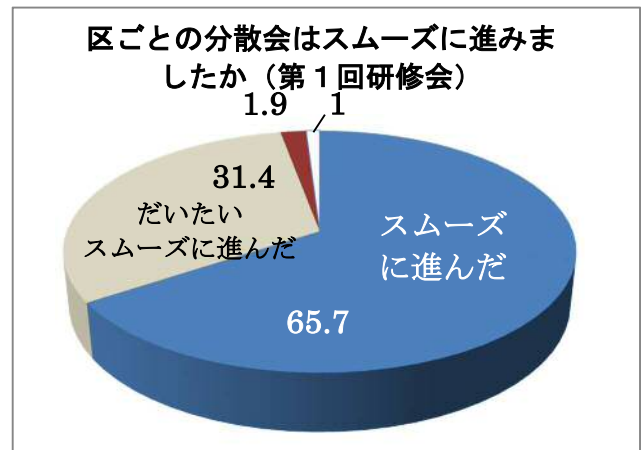
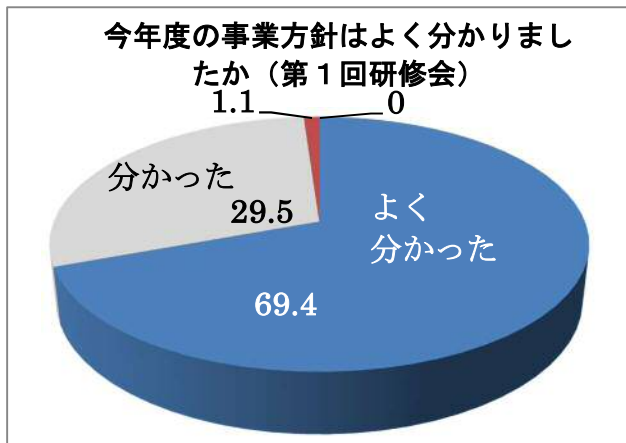
回	対象者	日 時	会場	内容	参加人数
第1回	研修幹事	平成29年7月3日 (月) 14:30~16:30	白山浦庁舎	研修企画の方法 情報交換	29人
第2回		平成30年1月26日 (金) 14:30~16:30	白山浦庁舎	区研修の総括 情報交換	28人

⑥ 区研修

- ・区ごとの計画による地域教育コーディネーター対象の研修
- ・年2～4回

⑦ 教職員研修

	研修会名	開催日	対象	指導者
1	新任教頭研修	4月20日	新任教頭	地域教育推進課長
2	学校運営マネジメント研修	4月27日	校長	地域教育推進課長・指導主事
3	12年経験者研修	8月3日	教職員	地域教育推進課指導主事
4	新任事務職員研修	11月20日	新任事務職員	地域教育推進課指導主事
5	初任者研修	12月25日	教職員	地域教育推進課指導主事



【新任コーディネーター研修参加者の声】

- ・4月から今までコーディネーターとしていろいろな経験を教えて頂いたことで今後の仕事に生かされると感じました。（新任）
- ・自己肯定感について、子ども達だけではなく、自分自身も持ちながら1年間を振り返ることができました。（新任）
- ・同じコーディネーターさんからのいろんな経験やアドバイスコーディネーターさんからの助言はとても有難かったです。（新任）
- ・コーディネーターの役割、立場を再確認できました。（アド）
- ・チャレンジして前進する新任コーディネーターさんのお話に勉強させていただきました。（アド）

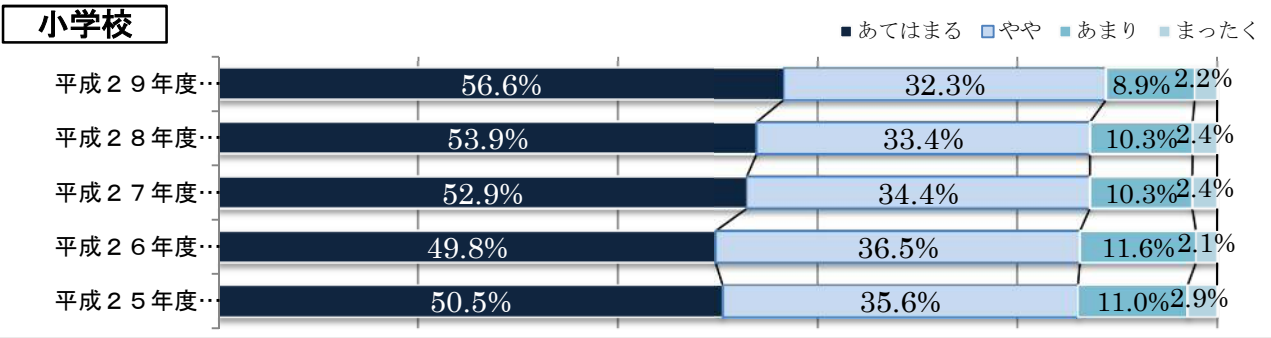
(3) 本事業にかかる調査

① 新潟市生活・学習意識調査	平成 29 年 11 月
② 地域と学校パートナーシップ事業に関する意識調査	平成 29 年 12 月
③ 国及び市への事業報告書(学校支援地域本部)	平成 30 年 2 月
④ 勤務実態調査	平成 29 年 11 月

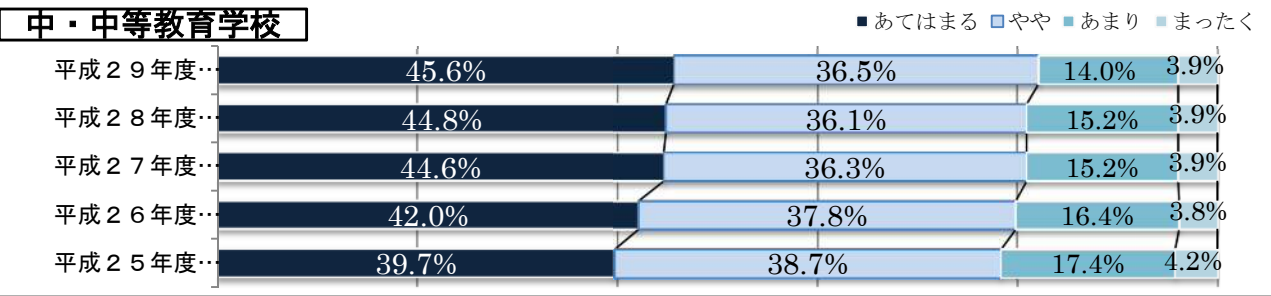
① 新潟市生活・学習意識調査

平成 29 年 11 月

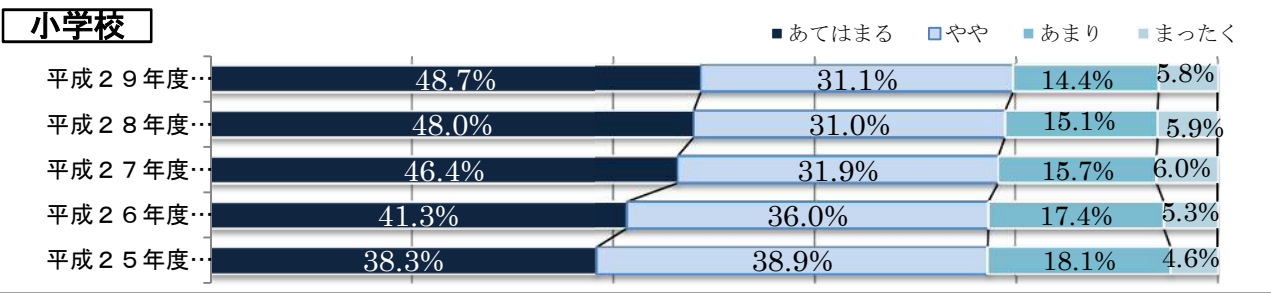
地域の大人とあいさつしたり、言葉をかかわったりしています



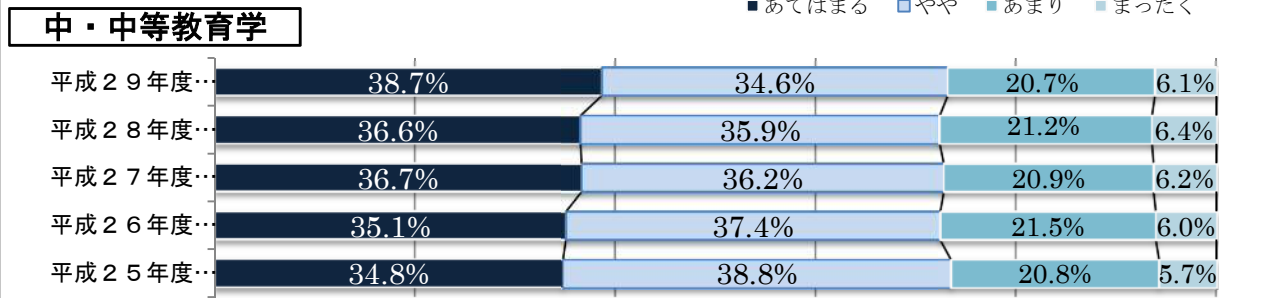
地域の大人とあいさつしたり、言葉をかかわったりしています。



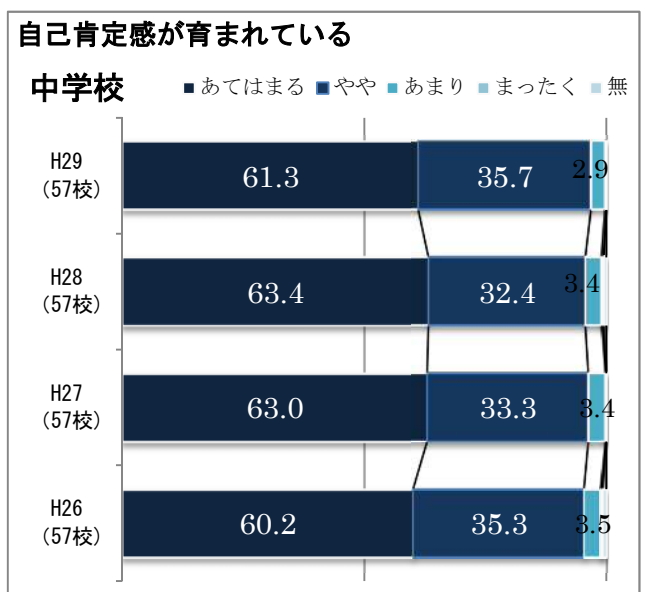
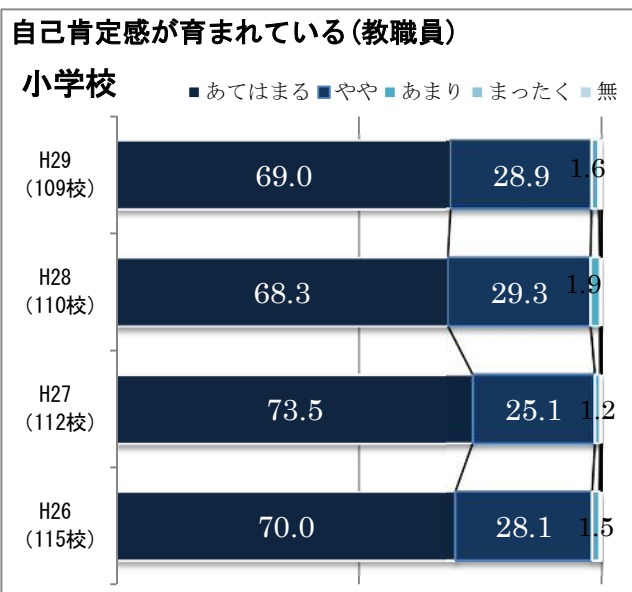
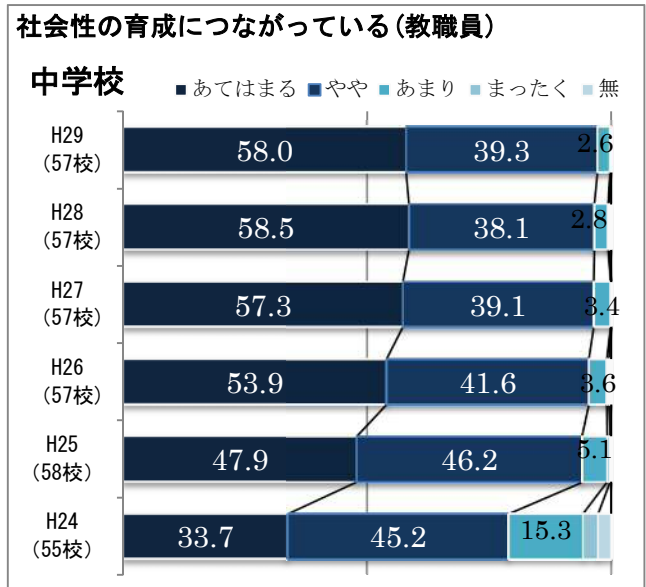
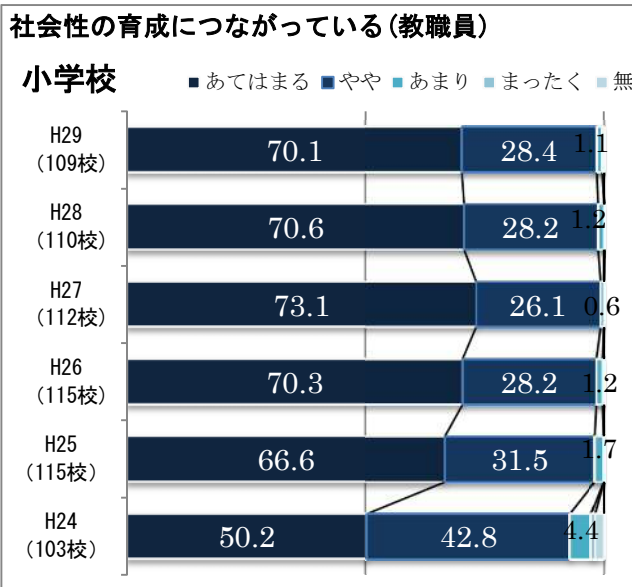
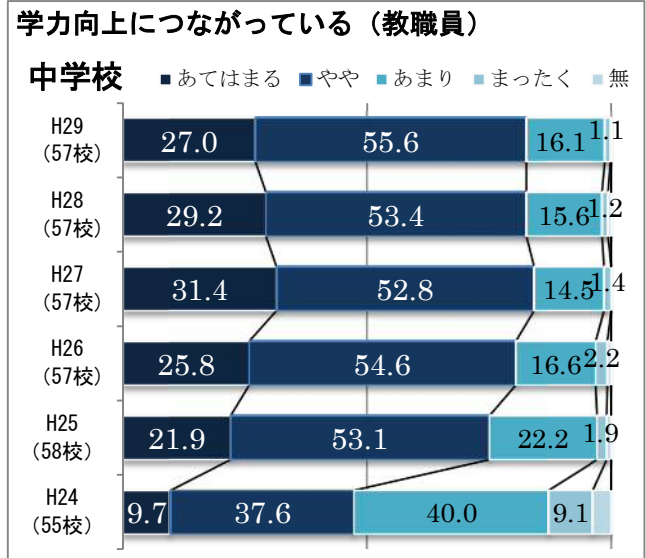
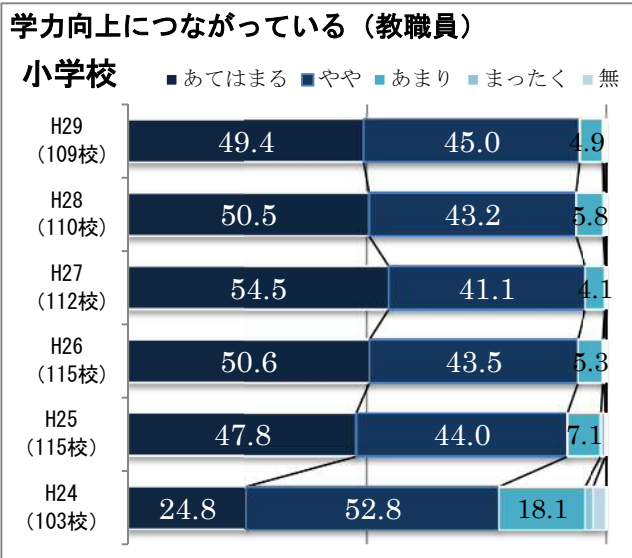
地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。



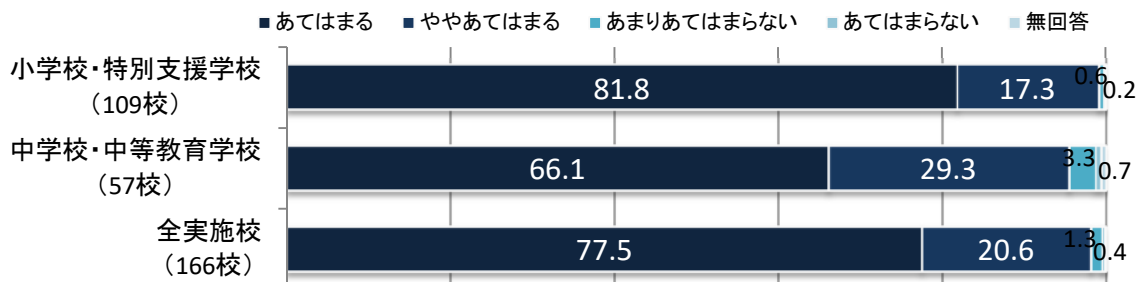
地域や学校で先生以外の大人からほめられたり、認められたりして、うれしいと感じることがよくあります。



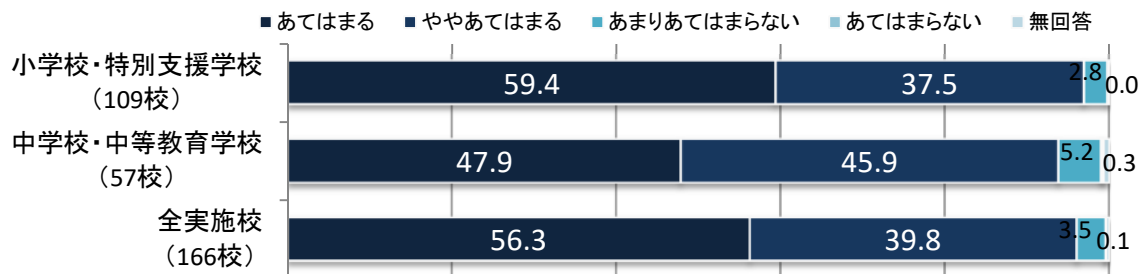
② 地域と学校パートナーシップ事業に関する意識調査 平成 29 年 12 月



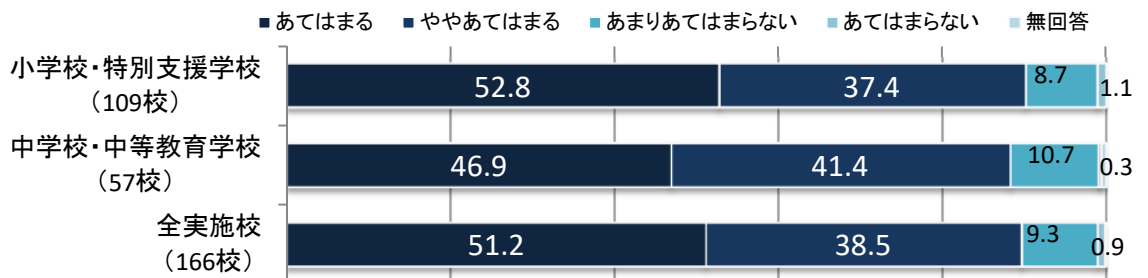
活動をととして、子どもから喜びや元気をもたらすことがよくある。(ボランティア)



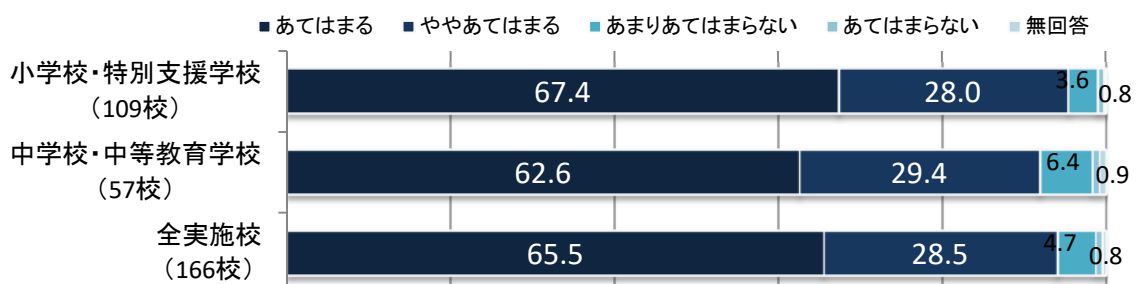
活動は、学校や子どもたちの役に立っているという実感が得られている。(ボランティア)



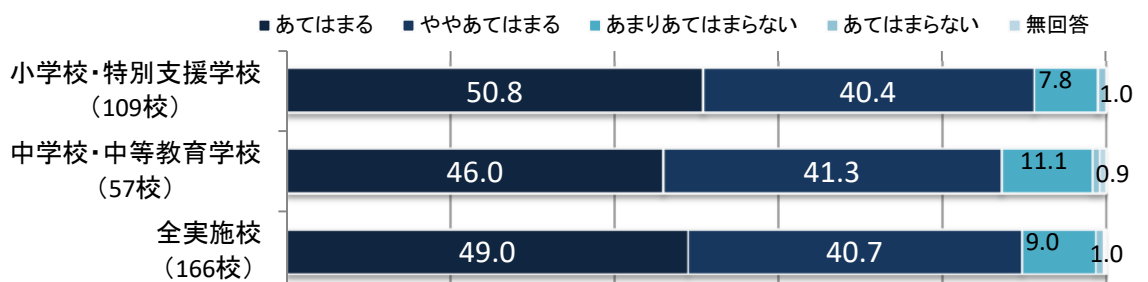
活動は、自分自身の生きがいや生涯学習になっていると感じる。(ボランティア)



活動を通して、学校と地域の結びつきが深まっていると感じる。(地域団体)



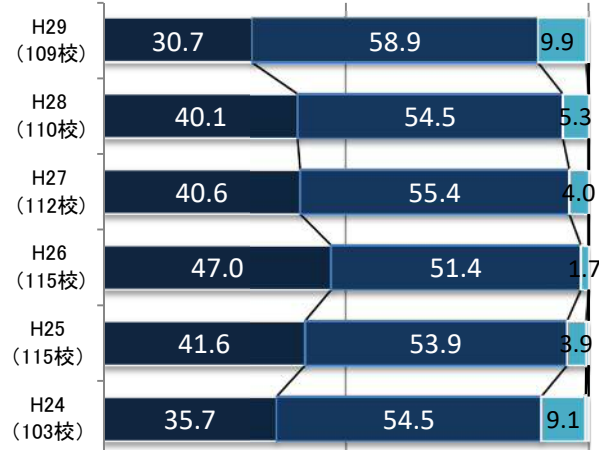
活動を通して、子どもが地域のことに関心を持ってくれていると感じる。(地域団体)



保護者の理解が深まっている(CO)

小学校

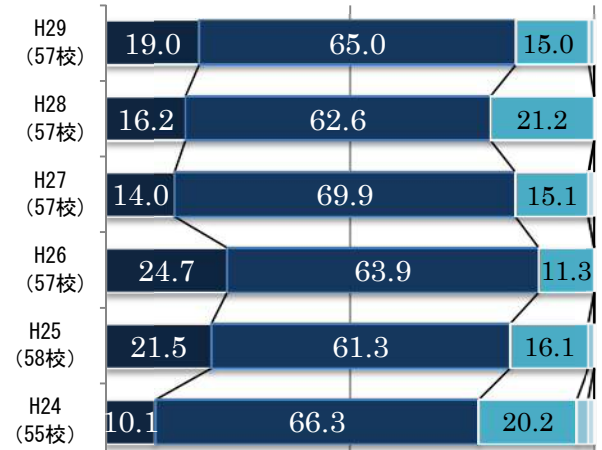
■あてはまる ■やや ■あまり ■まったく ■無



保護者の理解が深まっている(CO)

中学校

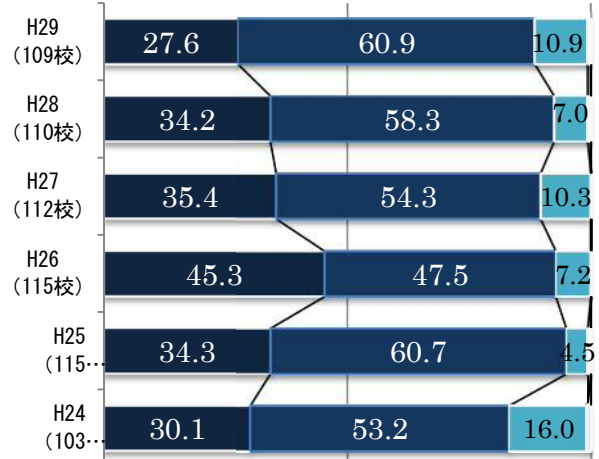
■あてはまる ■やや ■あまり ■まったく ■無



地域住民の理解が深まっている(CO)

小学校

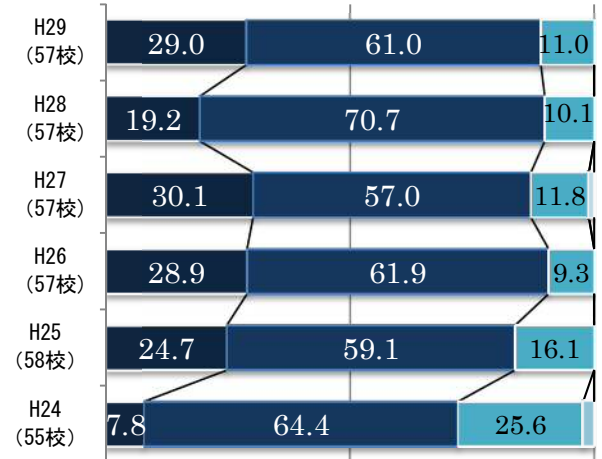
■あてはまる ■やや ■あまり ■まったく ■無



地域住民の理解が深まっている(CO)

中学校

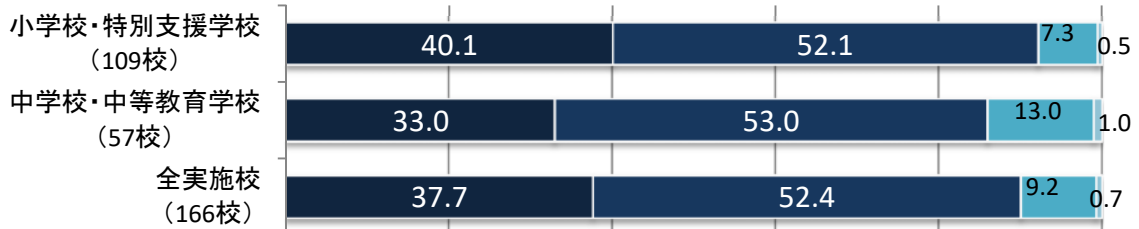
■あてはまる ■やや ■あまり ■まったく ■無



「地域と学校パートナーシップ事業」について、教職員の理解が以前より深まっている。

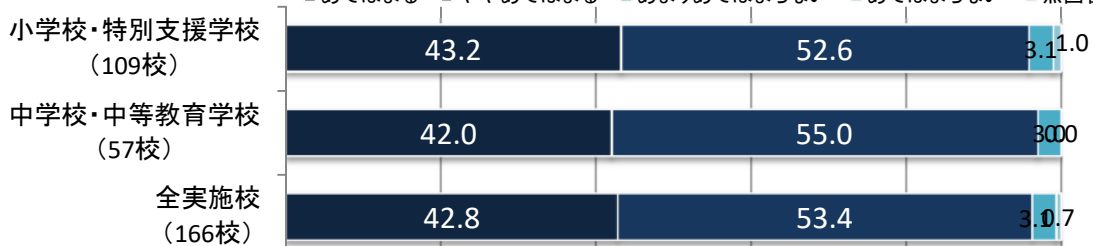
(CO)

■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■無回答



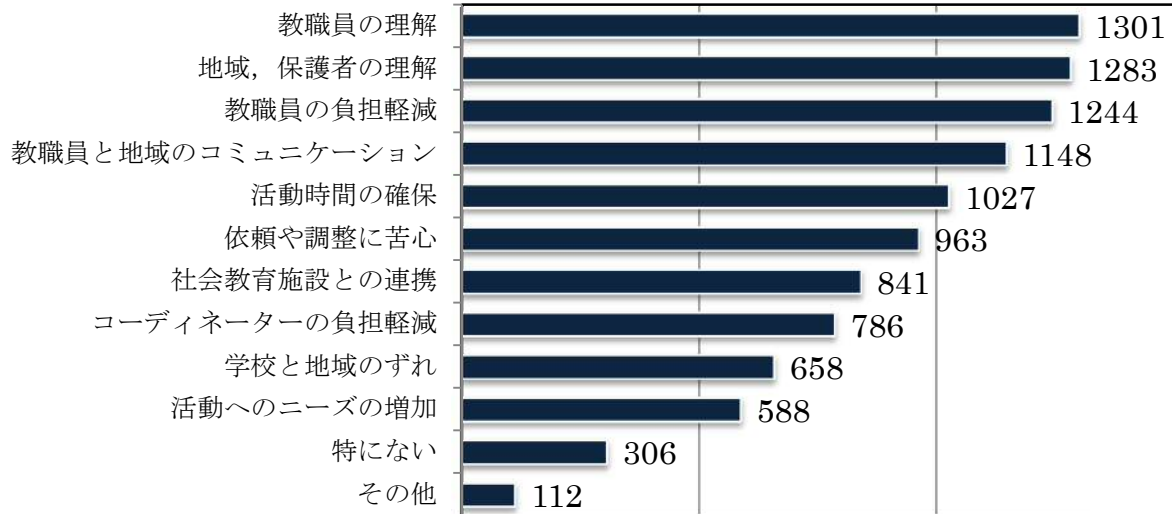
「地域と学校パートナーシップ事業」によって、地域と学校が共に子どもをはぐむ機運が以前より高まったと感じる。(CO)

■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■無回答



パートナーシップ事業を進めるに当たり、課題となっていること、感じていることは何だと思えますか。（全体）

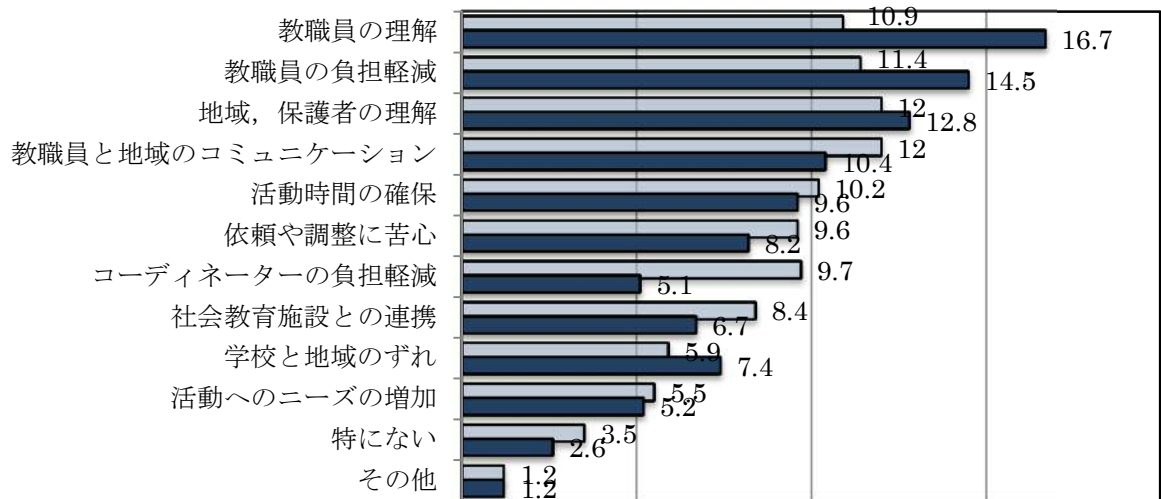
人



パートナーシップ事業を進めるに当たり、課題となっていること、感じていることは何だと思えますか。（教職員）

□ 小学校・特別支援学校 ■ 中学校・中等教育学校

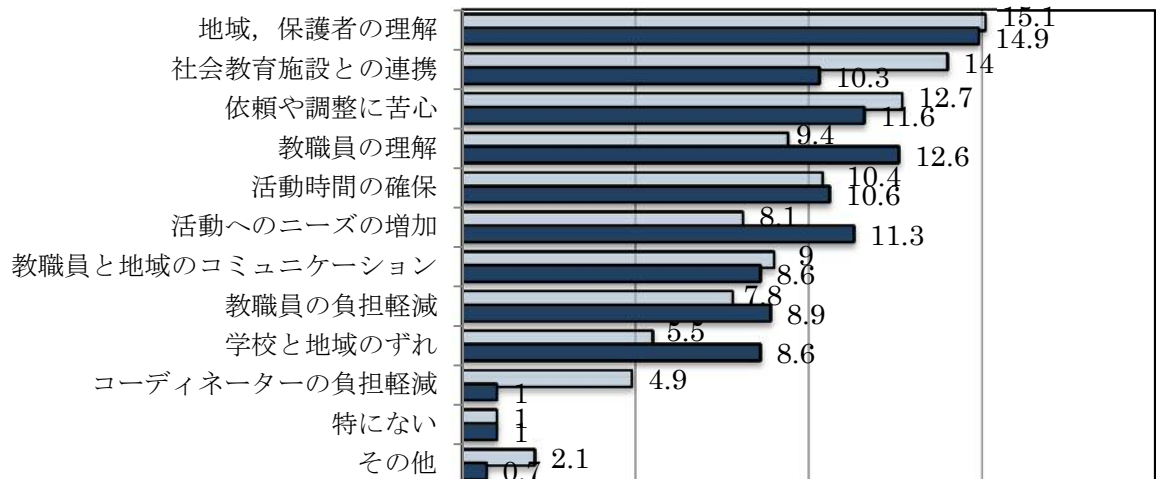
%

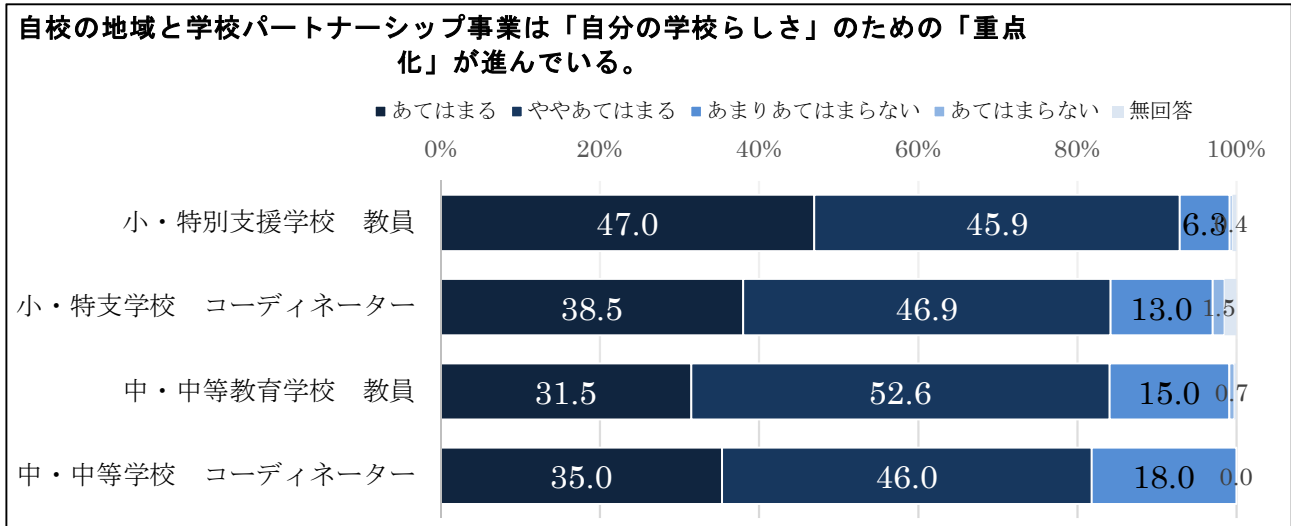


パートナーシップ事業を進めるに当たり、課題となっていること、感じていることは何だと思えますか。（コーディネーター）

□ 小学校・特別支援学校 ■ 中学校・中等教育学校

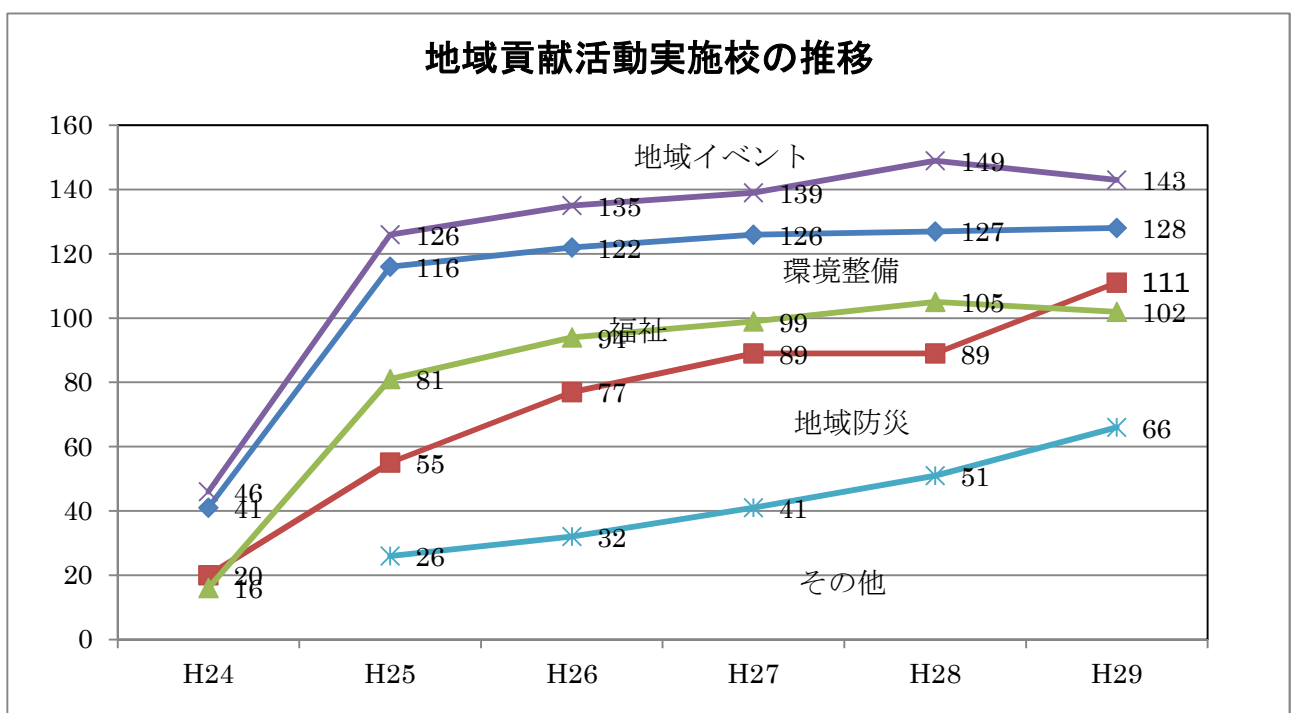
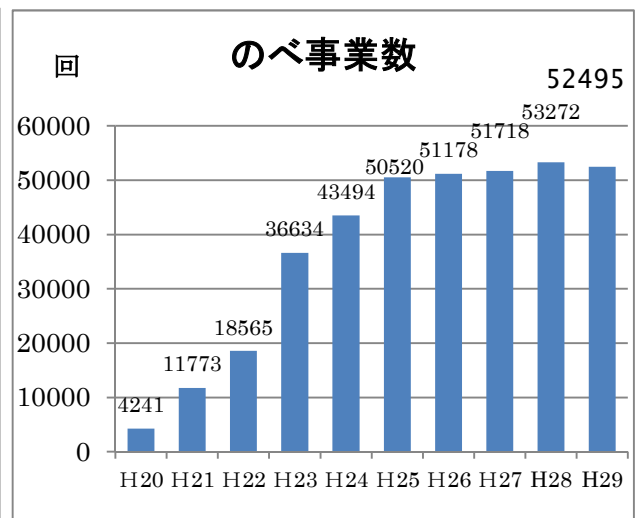
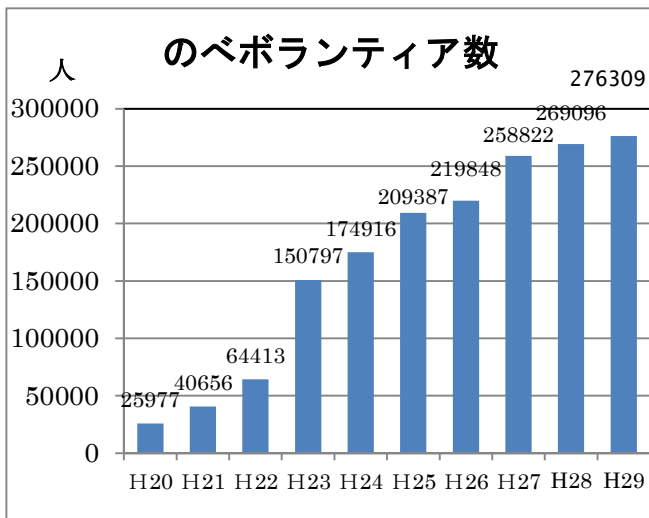
%





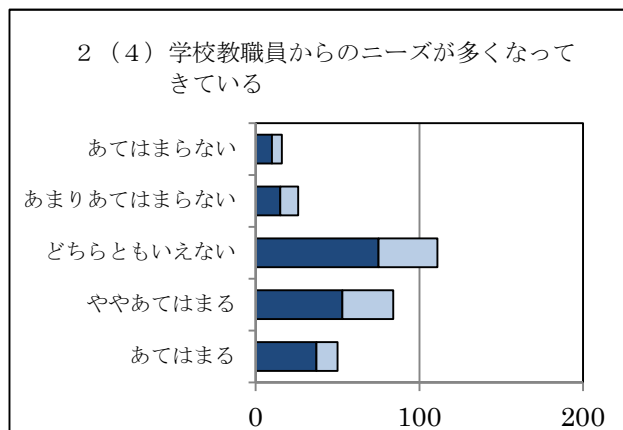
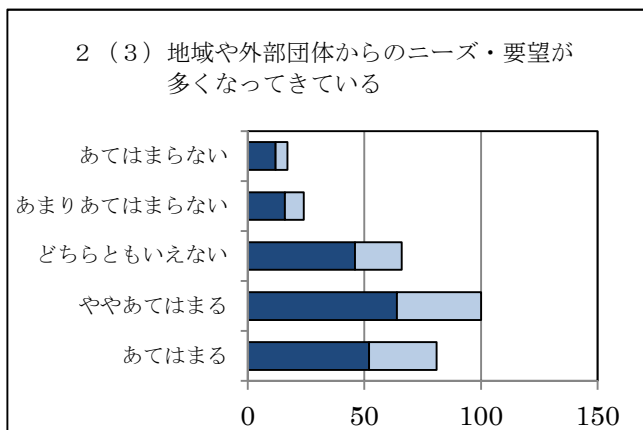
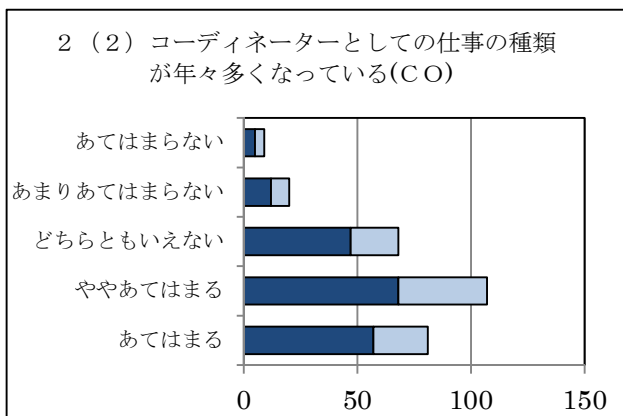
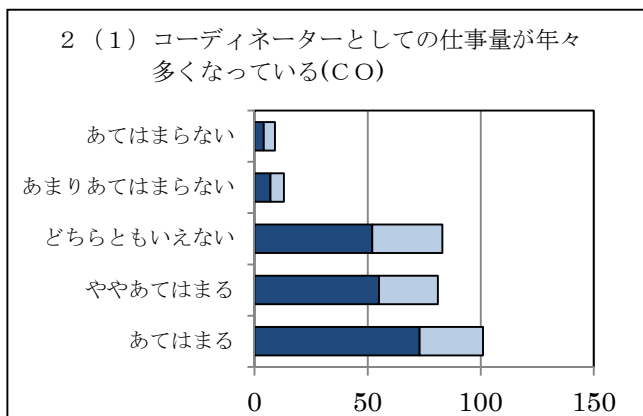
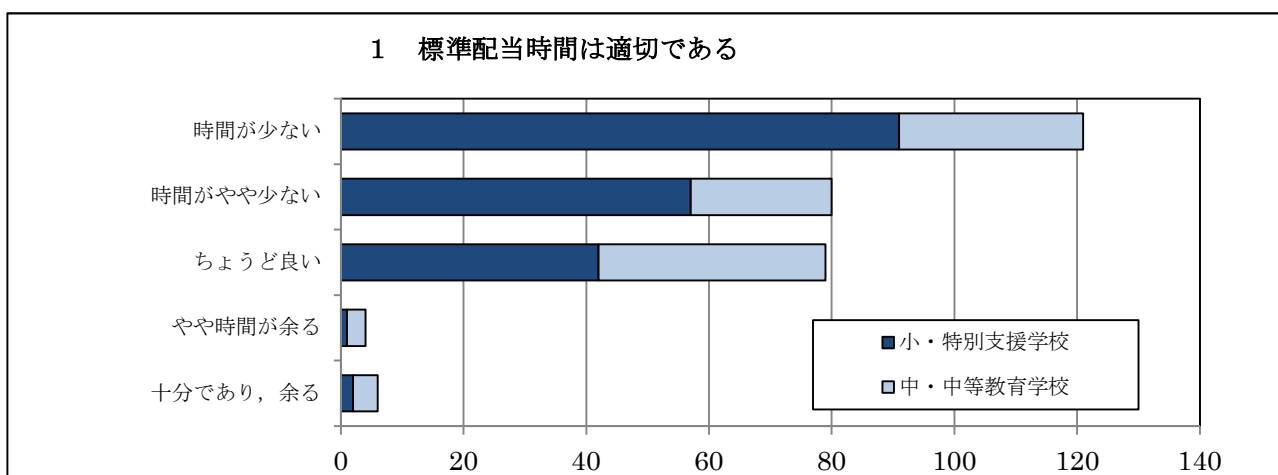
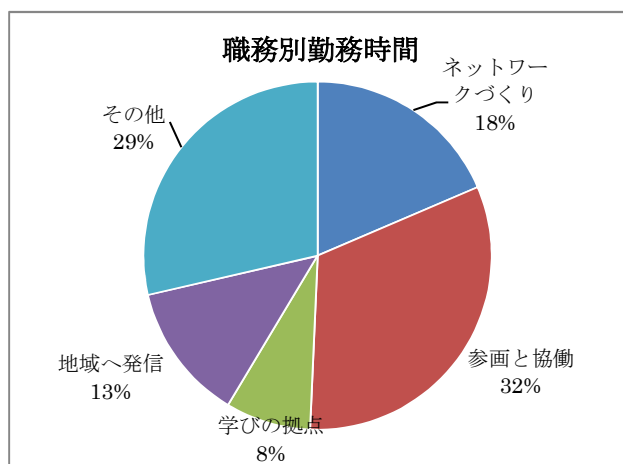
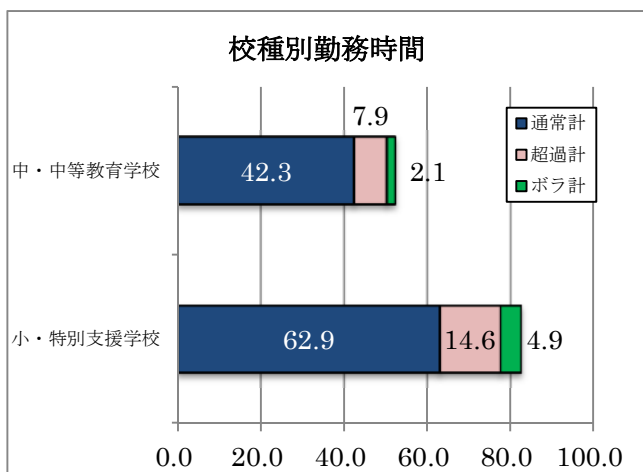
③ 国及び市への事業報告書(地域学校協働本部)

平成30年2月



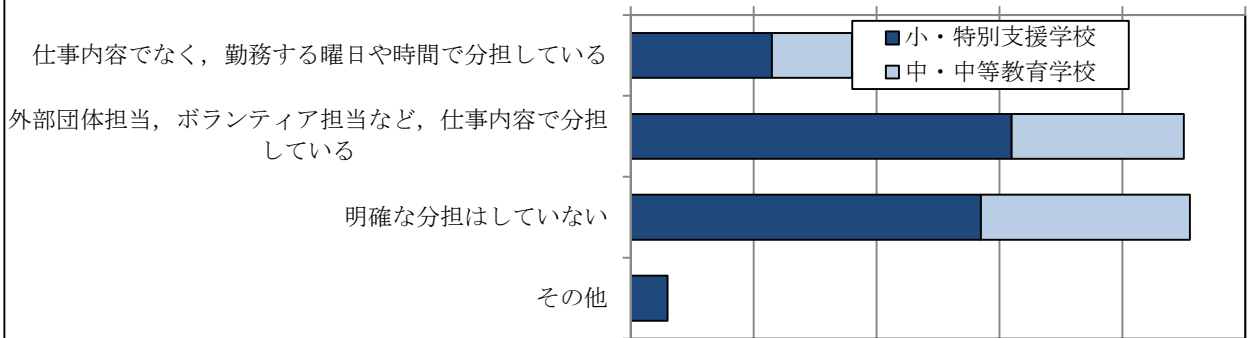
④ 勤務実態調査

平成 29 年 11 月



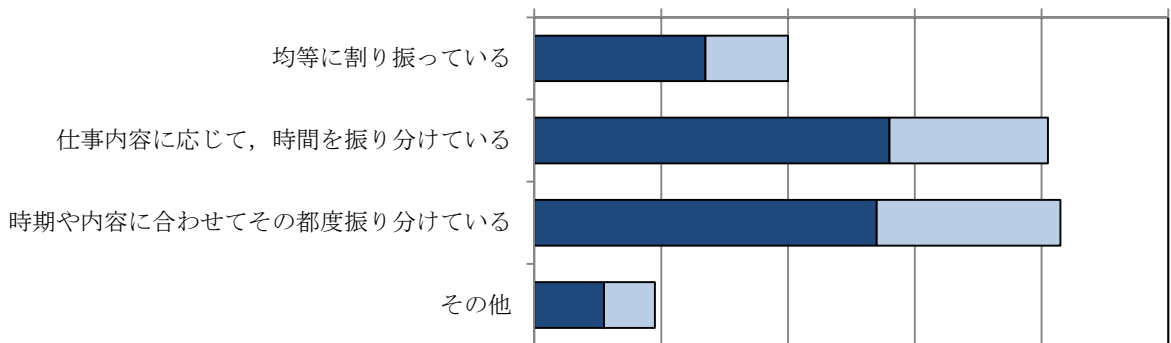
3 (1) 複数制で仕事内容をどのように分担しているか

10



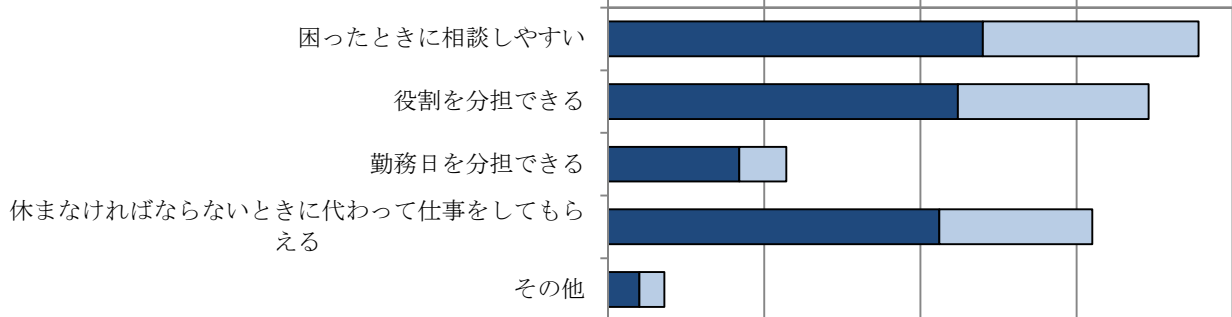
3 (2) 複数制で勤務時間をどのように割り振っているか

10



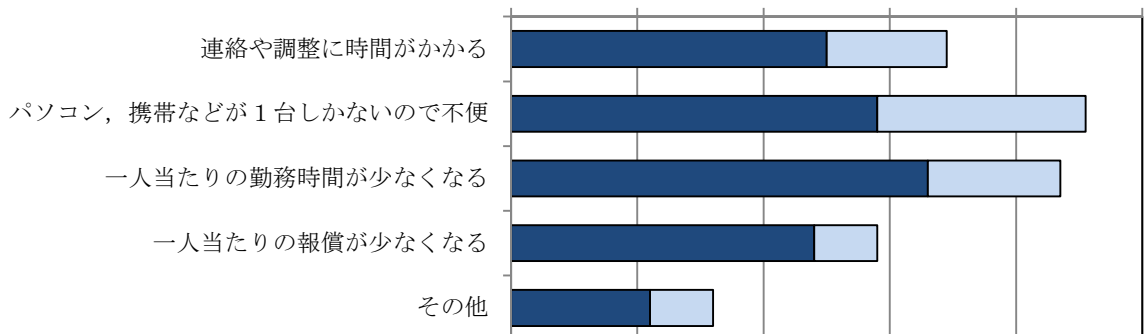
3 (3) 複数制の良い点はどんな点か (複数選択)

10



3 (4) 複数制の問題点はどんな点か (複数選択)

10



(4) 受賞

平成 29 年度 「地域学校協働活動」 推進に係る文部科学大臣表彰

- ・表彰対象校 …… 新潟市立笹口小学校, 新潟市立新津第一小学校
- ・授賞式 …… 平成29年12月7日(木), 文部科学省講堂にて実施

【新潟市立笹口小学校】

- 「NIIGATA 光のページェント」 実行委員会を学校内で開催し, 6年生児童全員参加のもとで運営会議や具体的な調整を行うことで, 地域のイベントを盛り上げようとする当事者意識を高めた活動を充実させている。
- 地域教育コーディネーターが学校と地域のニーズを調整し, 地域にいる専門家や名人を講師に招いて本格的な内容や技能に触れ, 体験する「本物に学ぶクラブ活動」の実施に力を入れ, 地域に学び, 地域と共に楽しむ活動を推進している。
- 地域住民の生涯学習の場として活用されている「ほっとハウス笹口」との連携・協力により, 地域に根ざした学校教育を側面から支援してもらったり, 休み時間の子どもたちの遊び場・居場所を確保したりしている。

【新潟市立新津第一小学校】

- 新津0番線商店街ローカル有線放送局「来て基地」での「一小情報ボックス」(児童とアナウンサーとのトークコーナー)を通して学校情報を発信し, 地域の活性化を支援している。
- 学校と地域のニーズを地域教育コーディネーターが調整し, Akiha マウンテンパーク事業や「にいつハロウィン仮装まつり」ジュニアスタッフの取組など地域に根ざした教育活動の充実に努めている。
- 新潟薬科大学・新津地区公民館との連携による「子ども創造塾」サイエンス教室などを実施している。
- 子どもたちは, 「地域子供教室」の中で, ボランティア指導者から文化・スポーツを週末に教えてもらっている。

(5) 市民への周知・広報活動(30年3月5日現在)

- ① **市報にいがた掲載** …… 1回
 - ・ 地域と学校パートナーシップ事業 …………… 1回
- ② **区だより掲載** …… 45回
 - ・ パートナーシップ事業特集記事 …………… 10回
 - ・ 地域連携・コーディネーター紹介等関連記事 …… 35回
 - ・ ウェルカム参観日 …………… 実施45校全ての案内
- ③ **Webサイト掲載** …… 適宜
 - ・ パートナーシップ事業リーフレット
 - ・ パートナーシップ事業アンケート結果
 - ・ パートナーシップ事業成果と課題

3 関連事業

(1) 地域と学校ドリームプロジェクト支援事業

① 趣旨

新潟市教育ビジョンにかかげる「学・社・民の融合による教育」の推進について、地域と学校パートナーシップ事業を核とした「地域と共に歩む学校づくり」が着実に進んでいる。

さらに、学校が積極的に特色ある取組の継続や新たな取組の開発に着手できるようにするとともに、先進的な取組が全市に広がるよう、予算面での支援を行う。

また、学校が「地域と学校ウェルカム参観日」を開催して、保護者や校区民、教職員や市民等を対象に、地域との連携・協働の取組の公開や学校職員や参加者同士の交流などを行うことを通して、本事業への参加者の見識を高めるとともに、さらなる協働・参画意識を醸成する。

② 認定校

「特色ある活動を継続する学校や新たな取組を開発する学校」を学・社・民の融合教育推進「地域と学校ドリームプロジェクト認定校」として認定し、予算面の支援を行う。

【29年度地域と学校ドリームプロジェクト認定校】

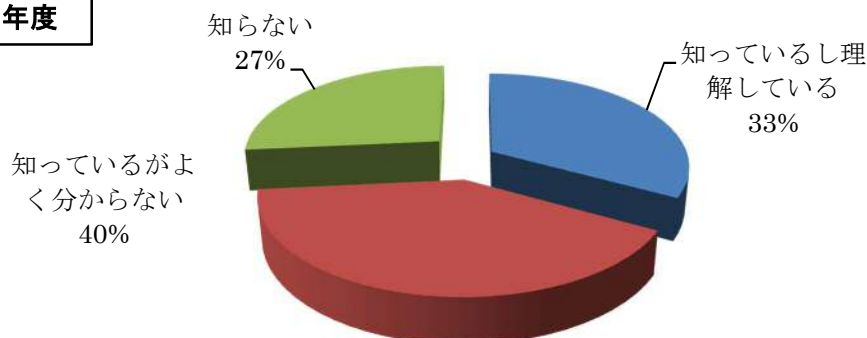
豊栄南小学校	東山の下小学校	東中野山小学校	関屋小学校	白山小学校
万代長嶺小学校	沼垂小学校	上所小学校	笹口小学校	女池小学校
桜が丘小学校	丸山小学校	横越小学校	新津第一小学校	小合東小学校
小合小学校	新関小学校	小須戸小学校	矢代田小学校	庄瀬小学校
大鷲小学校	根岸小学校	小針小学校	赤塚小学校	小瀬小学校
笠木小学校	五十嵐小学校	西内野小学校	山田小学校	鎧郷小学校
中之口西小学校	巻北小学校	松浜中学校	濁川中学校	岡方中学校
東新潟中学校	東石山中学校	鳥屋野中学校	新潟柳都中学校	金津中学校
味方中学校	内野中学校	中野小屋中学校	小新中学校	岩室中学校

③ 地域と学校ウェルカム参観日アンケート結果

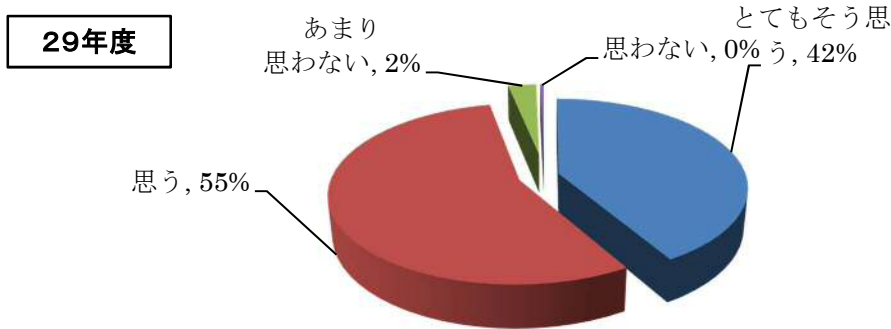
	実施 校数	参加者					アンケート	
		保護者	地域住民 市民	学校 教育関係	その他 (報道ほか)	合計	回答数	回答率
29年度	45校	7239	2619	589	368	10815	1996	18.5%
28年度	45校	8636	2995	680	456	12767	2132	16.7%

1 市内各小中学校で「地域と学校パートナーシップ事業」が行なわれていることをご存知でしたか。

29年度



2 学校と地域の方々、社会教育施設と協働して学習活動を展開することで、今後、学校の教育活動がさらに充実すると思いますか。



4 参考となる教育委員会事業

(1) 中学校区ミーティング（教育総務課主管事業）

① 趣旨

中学校区ごとに教育ミーティングを開催し、中学校区における教育課題の把握と地域や学校関係者との意見交換を行う。

② 実施校区

あらかじめ指定された28中学校区で実施。

③ 内容

今年度のテーマは「防災教育について」

- ・ 地域と連携した防災教育をいかに進めていくか

<29年度開催中学校区>

北 区	松浜中学校区	南浜中学校区	濁川中学校区	葛塚中学校区
東 区	東新潟中学校区	山の下中学校区	大形中学校区	石山中学校区
中央区	関屋中学校区	鳥屋野中学校区	白新中学校区	寄居中学校区
江南区	大江山中学校区	曾野木中学校区	両川中学校区	
秋葉区	新津第一中学校区	新津第二中学校区	金津中学校区	
南 区	白南中学校区	白根第一中学校区	白井中学校区	
西 区	坂井輪中学校区	内野中学校区	赤塚中学校区	小針中学校区
西蒲区	岩室中学校区	西川中学校区	中之口中学校区	

5 成果と課題

※ 文末（ ）内の数字は、参照ページ

(1) それぞれの立場からみた成果

① 子どもにとって

- ・ 事業が学力の向上、社会性の育成、自己肯定感の伸長に大きなつながりがある。(8)
- ・ 学習や体験活動で、子どもがたくさんの地域の大人とかかわることで、認められる場、ほめられる機会が増え、健やかな成長を支えている。(9)

② 地域にとって

- ・ 小学校では、あいさつ運動や交通安全運動など、中学校では、防災訓練や福祉関係など、地域に貢献する取組、地域と交流する取組が増えている。(12)

- ・ボランティア活動を通して、「元気をもらおう」「生きがいになる」「住民同士の結びつきが強まる」効果が見られる。(9)
- ③ 学校にとって
 - ・地域教育コーディネーターと連携した取組が進み、地域の自然や文化など地域のよさや特色を学ぶ教育活動が行われている。(12)
- ④ 社会教育施設等にとって
 - ・公民館や図書館等、社会教育施設等との交流や連携が年々充実してきている。

(2) 29年度の重点的な方策からみた成果

- ① 地域教育コーディネーターの勤務環境の改善
 - ・コーディネーター複数制の奨励が、役割分担などで効果を上げている。(14)
 - ・勤務実態調査を実施したことで、コーディネーターの執務状況概略を把握できた。(13)
- ② 持続可能な事業のための研修の充実
 - ・新任コーディネーター研修を実施し、スキルアップ・モチベーションアップを図った。
 - ・アドバイスコーディネーターを配置し、新任コーディネーターの相談役としてのしくみが確立し始めた。(6)
- ③ 特色ある教育活動と市民への周知の推進
 - ・地域と学校ウェルカム参観日を拡充した結果、多くの保護者、地域住民に事業を周知するきっかけとなった。(16)
- ④ 執行しやすい予算配当
 - ・配当予算総枠制へ移行した結果、執行しやすいしくみとすることができた。

(3) 今後の課題と事業推進の方向

- ① 事業開始から10年が経過し、「学・社・民の融合による教育」の意義を学校と地域が再確認し、持続可能な事業として継続的に充実が図られるよう、教職員や社会教育関係者、地域団体等が連携・協働できる環境づくりを進める必要がある。
- ② 公民館をはじめとする社会教育施設とさらに連携を進め、協働できる機会の検討が必要である。(11)
- ③ 研修の充実、周知の機会の拡大などの手立てを講じ、保護者や教職員の事業に対する理解をいっそう促し、地域との連携・協働を充実させていく必要がある。(11)
- ④ 地域教育コーディネーターのスキルアップを図るため、情報交換の機会を保障したり研修内容を工夫したりする必要がある。(10)
- ⑤ 地域教育コーディネーターと学校・地域の役割を明確にしつつ各校の取組の重点化を促して、特色ある地域連携・協働を進めるとともに、地域教育コーディネーターの過重な執務を解消する必要がある。(13)
- ⑥ 広報活動をより工夫するなど、広く市民、地域住民、保護者に事業の様子を紹介し、さらに理解を深めていく必要がある。(10・11)